



1

2

3

4

# 14

金属系ものづくりのプロ集団

## 精密板金

- ISO9001 (平成20年) / 14001 (平成16年) 取得
- かながわ中小企業モデル工場指定
- 神奈川県優良工場表彰

「複雑な形状加工に自信あり」と豪語する形のプロ。つまり物の特性のプロ。そして、オーダーに忠実に仕上げる腕は時に、独自の商品を生み出す力も持つ。

- ①…得意の溶接技術を駆使してお客様のニーズに応える
- ②…自動金型交換装置を装備して省力化に取り組む
- ③…仕上げ作業は出来栄を左右する重要な工程
- ④…多品種少ロットに対応するには手加工も必要

### 福祉分野でのオリジナル製品の開発も

加工から塗装まで一貫生産。70年以上蓄積してきたものづくりのノウハウで、常に顧客のデザインニーズを満たすことをモットーとする精密板金業だ。扱う製品は、分析・計測機器、空調機器類の筐体・カバー・架台・シャーシ・パネル・ブラケット、医療機器、TVモニター筐体など。金属プレス製品の製造および板金プレス加工の中でも複雑な形状加工、特にR形状の板金加工や溶接技術を得意とし、多品種少ロット製品にも対応した受注生産を行

う。コストダウンを求めて中国、タイ等のアジア諸国に生産拠点を移す企業が多いが、海外への進出は考えず「ものづくりへのこだわり」と人材育成によってさらに技術力を高め、それを自社の強みとしたいという。また近年、福祉機器事業にも取り組み、離床センサーや通報システムなど独自の製品も生み出している。



社長から、もうヒトコ

企業は人なり。当たり前のことを当たり前前にできる人材の育成。若い人材を育成するには焦らず時間をかけて。

#### 企業DATA

### 株式会社内田製作所

■所在地 厚木市上依知3021 ■お問合せ TEL 046-285-1121  
 ■ホームページ <http://www.uchida-ss.co.jp> ■E-mail: ken-u@uchida-ss.co.jp





# 15

日本のものづくりを支える「縁の下の力持ち」

## 金属表面 処理技術

●ISO9001 (平成13年) / 14001 (平成15年) 取得

工作物や建造物に使われる重要な金属部材の  
耐久性を向上させる表面処理一筋に半世紀。  
たゆまぬ研究から生み出された技術で、  
ものの要(かなめ)部分を確かに担う。

- ①…特殊製品処理治具
- ②…ディスクプレーキローター
- ③…自動塗装装置
- ④…ジョイントコネクター

### “アクアライン”にも ほとんどの車の部材にも採用

自動車、産業機械、土木建築など、さまざまな分野でつくり出されるものの要所所に使用される金属部材。MCシステムズ東日本は、そうした金属部材の耐久性を向上させる表面処理を仕事としている。関東地区のコア工場である厚木工場をはじめ、グループ会社を含めると全国8工場体制で稼働。代表的な処理技術としては、耐塩害性・無水素脆性に優れる「ダクロタイズド処理」と、クロムフリーでありながら飛躍的な高耐食性を実現したとして

評価の高い「ジオメット処理」。ダクロタイズド処理は、青函トンネル着工時より現在まで使用されており、東京湾アクアラインのトンネルジョイントのセグメント部材にも採用された。また、ジオメット処理は、日本のほとんどの車の足回り部分などに採用されているという。まさに日本のものづくりを足元から支える名脇役といえる。



製造部  
次長から、  
もうひとコト

ユーザーメーカーの要望に応えることを常に心掛けるのはもちろん、「環境に優しい表面処理の提供」も目指しています。



#### 企業DATA

### 株式会社MCシステムズ東日本

■所在地 厚木市上依知1285-1 ■お問合せ TEL 046-245-3220  
■ホームページ <http://www.mcsystems.ne.jp> ■E-mail : [masahiro.kojima@mcsystems.ne.jp](mailto:masahiro.kojima@mcsystems.ne.jp)



# 16 熱処理技術の総合メーカー 各種熱処理技術

- ISO9002(平成12年) / 14001(平成17年)取得
- 神奈川県優良工場表彰

自動車・工作機械・建設機械の関連部品を柱に  
熱処理業界をリードし続ける専門メーカー。  
「熱い心で未来を創造する」をテーマに  
新分野への技術の応用も見据える。

- ①…厚木本社
- ②…PVD処理された製品
- ③…ビット型ガス浸炭炉による大型シャフトの焼入場面
- ④…オールケース型ガス浸炭焼入炉の製品装入場面

## 追従を許さぬ 大型品の熱処理技術

1951年創業以来、熱処理専門メーカーとして蓄積された技術は、浸炭熱処理を中心に、真空熱処理、高周波熱処理、窒化熱処理、セラミックコーティング等、幅広い熱処理技術を駆使する“総合デパート”として業界をリードしてきた。自動車、産業機械、工作機械、建設機械関連部品をはじめとして幅広い分野の熱処理を手がけ、品質に対する信頼には揺るぎないものがある。特に大型品の熱処

理技術はオーネックスの最大の特徴であり、半世紀を超えるノウハウに裏づけられた低歪み熱処理の高い技術力は、他社の追従を許さぬばかりか海外からも高く評価されている。この蓄積された熱処理技術に加え、正確な制御技術、厳格な品質管理体制を有することがオーネックスの強み。これを新しいビジネスモデルの中に生かす模索もなされている。



社長から、もうヒトコト

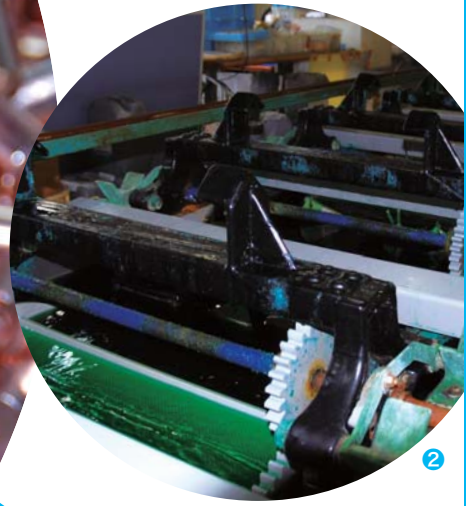
より高い品質、生産性の実現を図るのは当たり前のこと。今後は特に、環境問題をはじめとする社会的責任を果たしつつ、新分野にも熱処理技術を応用すべく果敢にチャレンジしてまいります。

### 企業DATA

## 株式会社オーネックス

- 所在地 厚木市上依知3012-3
- お問合せ TEL 046-285-0600
- ホームページ <http://www.onex.co.jp>
- E-mail : [s-gunji@onex.jp](mailto:s-gunji@onex.jp)





# 17

有害物質ゼロを追求するめっきメーカー

## 塩化カリウムめっき

●元気なモノ作り中小企業300社選定

- ①…有害物質を一切使用しない銅メッキの仕上がり品
- ②…Niめっきライン回転バレル
- ③…排水処理タンク(飲んで問題ないほどに浄化された水)
- ④…従来不可能とされたクロムめっきの回転バレル処理を可能にしたオートギルダー(薬剤メーカー・機械メーカーと共同開発)

創業以来40年にわたって環境へのこだわりを持ち続け、青酸カリを使わず国内で唯一塩化カリウムを使用。カメラや携帯電話など精密性と安全性が求められるめっき処理を得意とする。

### 注目の技術！ 三価クロム＋回転バレル式

自動車、家電、携帯電話、デジタルカメラの電子基盤等、先端技術に関わる幅広い分野で使用される部材のめっき処理を手がける大場金属。特に、カメラのシャッター部分のめっき処理では世界シェアの過半数に及ぶ。「環境力と技術力の両方を兼ね備えためっきメーカー」として、経済産業省の『元気なモノ作り中小企業300社』に選定されたのを機に、以前より独自に進めていた回転バレル式三

価クロムめっきの技術開発に拍車をかけた。これは、RoHS規制物質の六価クロムを使用せずに被膜処理ができる技術で、従来の吊し処理と違い引っかけ痕がなく高耐食性も有することが特長。これを大量処理可能なバレル方式で行うことで、短納期と大幅コストダウンを実現させた。この技術は、次代のモノ作りを支えるキーテクノロジーとして多くの企業から期待されている。



社長から、もうヒトコ  
高齢化と言われる業界ですが、弊社の社員は若者ぞろい。しかも皆が職人気質を持って仕事に励んでいます。

#### 企業DATA

## 株式会社大場金属

■所在地 厚木市金田62-2 ■お問合せ TEL 046-296-6280  
■ホームページ <http://www.ooba-kinzoku.com> ■E-mail : [info@ooba-kinzoku.com](mailto:info@ooba-kinzoku.com)





# 18

## さまざまな分野で求められる 精密金型技術

●神奈川県優良工場表彰

エンジニア間の確かな技術伝承をバックに、ますます高度化する金型ニーズに対応し、全社員が「チャレンジ精神」を掲げて、多様なニーズも見据える若き集団。

- ①…各種インナーフィン
- ②…精密研削加工
- ③…試抜き加工
- ④…製品自動巻き取り

## 生産不可能とされた方法での生産も実行

約40年前の創業以来、精密金型の設計・製作を主業務として、自動車、電子・電気、機械、事務機器、設備など、多くの分野で求められる製品や部品の高精度・高耐久化、短納期・量産化、高速化、ローコスト化を行ってきた。特に、業界トップレベルのオイルクーラーフィン成形700SPMや、順送りプレス加工では生産不可能と思われていた製品を数々と順送り化させることなどを可能にした技術力は

高い評価と信頼を得ている。強みとするのは、自動車駆動系に使用する熱交換器用インナーフィンの微細化・高精度化などにも対応してきた技術力と生産体制だ。また4年前から、プレス加工による独自開発品の製作を開始。「この分野でもお客様に大きなご満足をいただけるよう、金型を知り尽くした弊社ならではの良品づくりに努めたい」と、42歳の若社長は語る。



社長から、もうヒトコト

「従来の常識にとらわれない自由で柔軟な発想」「常に可能性を追求し続ける強い意志」「困難を克服する忍耐力」が弊社の合言葉です。



### 企業DATA

## 株式会社柿生精密

■所在地 厚木市恩名4-15-28 ■お問合せ TEL 046-247-8693  
■ホームページ <http://www.kakio.co.jp> ■E-mail : yoshinobu-h@kakio.co.jp



19

基幹産業を支える精密鋸断のパイオニア

# 多工程鋸断

いち早く自動精密鋸断業として創業以来75年。  
日本の精密鋸断をリードしつつ研鑽を積み、  
極厚鉄板の切断を得意分野として、  
「多工程鋸断」も駆使する。

- ①…NC切断
- ②…極厚切断
- ③…材料出し
- ④…製品手入れ

## 精密鋸断との “合わせ技”でコストダウンと省力化

1936年に日本初の自動精密鋸断業として創業。以来、厚板精密鋸断のパイオニアとして、常に一歩先を見据えた技術開発に努め、わが国基幹産業の発展の礎となり続けている。鋸断とは、酸素と金属の酸化反応を利用した切断方法で、精密鋸断は可燃性ガスと高圧酸素によってなされる。他社に誇る技術は「多工程鋸断」。これは、従来高価な工作機械と多くの時間を必要とした、鋼板・鋳造品・金

属の加工を鋸断のみで完成品に近い形状にできる工法で、精密鋸断との合わせ技により、後工程での加工時間を大幅に短縮し、コストダウンと省力化を可能にする。また極厚鉄板の切断も得意とするところ。「350mm素材の切断設備を備えているのは関東でも当社を含め3社だけ」という。女性社長が率いる若い集団だが、技術の伝承もしっかりとされている。



社長から、もうひとコト

お客様の企業規模やお取引の大小に差をつけないことが弊社のモットー。常に顧客目線で仕事をするを大前提に営業しています。



企業DATA

## 株式会社荻下精密鋸断

■所在地 厚木市三田47-1 ■お問合せ TEL 046-243-4330  
■ホームページ <http://www.komocut.co.jp>



# 20

日本有数のトラック・バスのシャーシフレーム専門メーカー

## シャーシフレーム

●ISO9001 (平成23年) / 14001 (平成13年) 取得

各種バス・トラック用シャーシフレームの専門メーカーとして、フレームの組立ておよび部品製造を手がけ、国内を走る大型・中型・小型トラックのほぼ50%のシェアを誇る。

1

- ①…荷台をはずした状態でリア側から見た、トヨタ・日野自動車向け小型トラックのシャーシフレーム
- ②…日野自動車の大型トラック『プロフィア』。当社で製造した大型シャーシフレームが搭載されている
- ③…トヨタのSUV(オフロードタイプ4輪駆動車)に搭載されているシャーシフレーム。すべて溶接で組み立てられている
- ④…当社の工場を撮影した航空写真。敷地面積は東京ドームの約1.5倍

### 中型・小型の商用車で国内トップクラスの実績

商用車(トラック・バス)のシャーシ専門メーカーは国内に数社あるが、その中で当社は中型・小型の商用車でトップクラスのシェアを誇る。日本国内を走る大型・中型・小型トラックのほぼ半数に当社のシャーシが使われており、独自のノウハウや技術者たちの技能はもとより、日本屈指の生産設備を有している。製品の規格、安全性ともに妥協は許されず、さらにコスト面、スピード面において、顧客からの高い要求に応えている。創業は1919年。第二次世界大戦後からトラック・バス用のシャーシ製造に携わり、製造機械や塗装の独自

技術を確立してきた。専門メーカーとして地道に磨いてきた技術は、他社がマネできないほど高度化し、他社の参入を抑制するまでになった。シャーシは人の手で組み立てられる際に歪みが生じるよう設計されており、自動車として完成する時にその歪みは消える。これは長年の経験からのみ会得できる自動化できない技術である。今では取引先から「シャーシといえば武部」と第一想起される存在となった。コスト・品質・納期といったすべての面で顧客満足を得られているからこそその評価であると自負している。



社長から、もうヒトコト  
シャーシフレームを製造する会社は国内では数社のみであり、弊社は国内シェア50%を誇っています。特に技術力や設備には自信があります。プレス成型では中厚板にも強い穴あけ加工技術である「NCパンチプレス」を導入。特許も取得しています。

#### 企業DATA

### 株式会社武部鉄工所

■所在地 厚木市緑ヶ丘5-18-1 ■お問合せ TEL 046-221-5210  
■ホームページ <http://www.takebe.co.jp> ■E-mail: [saiyou@takebe.co.jp](mailto:saiyou@takebe.co.jp)





# 21

クルマとガラスの接合を熟知する技術集団

## 自動車ガラスの組込み

- ISO9001 (平成12年) / 14001 (平成18年) 取得
- 神奈川県優良工場表彰

最終アSEMBリーラインに乗せるための自動車用ガラスの組込みを専門とし、そこで培ったさまざまな技術のさらなる進化と展開を目指す。

- ①…DOOR用ホルダーASSY機
- ②…WS用クリップASSY機
- ③…測定顕微鏡
- ④…クリップ

### 組立加工技術 成型接着技術を基盤として

自動車にガラスを取り付けるには、日頃目にするもの数多くの部品と、高度な組込技術による前処理が不可欠だ。堀硝子が担っているのはまさにこの前処理工程。最終アSEMBリーラインに乗せるための自動車用ガラスの組込みを熟知し、部品組立加工技術と樹脂部品の成型、接着技術において抜きん出る存在だ。世界3大ガラスメーカーグループのいずれとも取引関係を有し、国内を代表

する自動車メーカーのほとんどから受注を得ていることもその証しといえる。「常に誠実であれ」が経営モットー。ユーザーメーカーの要望に対して、「できること」と「できないこと」を峻別し、できることには全力を傾ける姿勢を貫いて、創業より65年にわたり信頼を獲得してきた。また、それら技術の蓄積を基盤とした事業領域の拡大にも挑戦している。



社長から、もうひとつ

自動車ガラスの組込技術は簡単そうに見えて奥の深い領域。培った技術に誇りを持ち今後の技術革新をもにらんだ新たな挑戦を続けたい。



#### 企業DATA

## 堀硝子株式会社

■所在地 厚木市上依知3031 ■お問合せ TEL 046-285-3731  
■ホームページ <http://www.horiglass.co.jp>



# 22

独自の視点でマット・ボード・シートをつくる

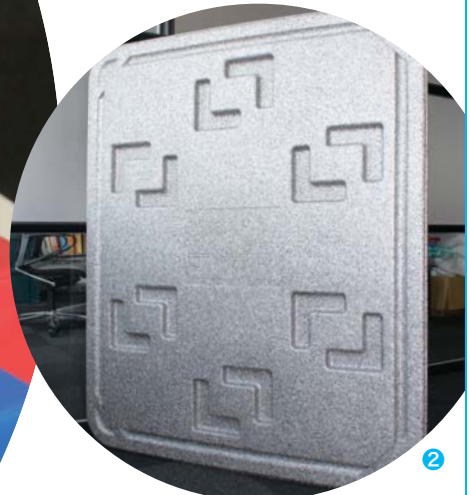
## ロールマット ／ ロジボード

●ISO9001 (平成20年) 取得

「物流魂」という言葉を掲げてものをつくる企業。  
つくるものは、緩衝材・養生板・シートなど。  
物を見つけてきた経験が高い技術を生み、  
横浜スタジアムのフェンスにも採用。

1

- ①…マルイチのオリジナル商品である「ロールマット」は20年以上にわたり輸送のプロたちに愛用され続けている「定番」商品
- ②…プラスアルファのアイデアをかたちにした画期的な商品「ロジボード」。アイデア一つでコストダウンと性能アップを同時に実現した
- ③…「物流魂」は製造現場から。画像は「高周波ワエルダール」と呼ばれる機械。素材を溶着するための「刃」の部分は顧客の要求に合わせてそれぞれ専用のものがつくられ、使用される
- ④…ハンドメイドでつくられる製品は高品質で信頼性が高く、なおかつ様々な規格や要求にも臨機応変に対応できる



2



3



4

### 物流の抱える課題の ソリューション企業を目指して

半世紀にわたり、物流における安全輸送をテーマに、種々の輸送用緩衝材、養生板、シートなどを製造販売している。売上比率としては、「ロールマット」をはじめとするオリジナル製品が約7割、量産品、注文品が約3割。ロールマットは、創業者である現社長が考案したものだという。「長く物流業に関わることで蓄積したノウハウが、ものづくりアイデアの源泉ですね」と常務。現在、同じオリジナル

製品の「ロジボード」の売上げも好調とのことだ。これは、ポリエチレン製の一般輸送用緩衝材で、予測される耐衝撃性に耐えられる厚みと強度を保持したまま、部分的に“肉抜き”を施して体積を減らすことで軽量化と低コスト化を実現したもの。目指す企業像は「物流関連企業の抱えるあらゆる課題のソリューションを提供できる企業」である。



常務から、もうひとコト

**物流魂** (物流魂)  
お客様との信頼関係が第一という意味の弊社のスローガンです。

#### 企業DATA

## 株式会社マルイチ

■所在地 厚木市酒井3162マルイチビルディング7F ■お問合せ TEL 046-220-1701  
■ホームページ <http://www.maruichi-tec.co.jp> ■E-mail : [info@maruichi-tec.co.jp](mailto:info@maruichi-tec.co.jp)